

一般質問Q&A

日本共産党

山田安信
議員



- プロポーザル入札で、入札参加者、入札金額まで秘密にしていることについて
- 指定管理者に契約不履行なのに指定管理費を全額支払った問題について

その他の質問

- ・勝山市長選挙の結果について
- ・コロナ危機を踏まえた、観光政策の見直しが求められている 他2項目

問 生徒用タブレットの「プロポーザル入札で、参加業者名、応札金額、評価項目と評価点などを秘密にし、参加業者の異議申し立てまで禁止したが、これでは議会すら検証できない。この方式を見直す考えは無いか。

答 プロポーザル方式の結果公表の法的根拠や指針等が無いことから、審査結果の公表の判断は自治体に委ねられている。

非公開としている理由は、決定者以外の企業名と提案内容の詳細が公開されれば他社と比較され、低く評価されている項目が明らかになり、選定されなかったという事実以上に企業の社会的地位、その他正当な利益を害する可能性があると考えられるため。しかし、入札の透明性を図ることは想定されるリスクを低減する側面もあると考えており、全国の自治体では公表している事例も見受けられるため、その内容や考え方を今後研究していく。

問 ①(株)六千坊が業務仕様書の一部を履行せず、市に指定管理費を返納した内容の説明を求める。

②契約不履行は、返納しただけで済まされない。契約不履行に対する処分規定と、処分判断の予定の説明を求める。

答 ①AEDの未設置分が2万6945円、利用者賠償保険の未加入分が19万990円、消防用設備点検分が6万1564円で、返還額の合計は27万9499円である。

②市と指定管理者との基本協定書で、指定管理者から提出のあつた事業報告書に基づき業務の実施状況を確認し、仕様書を満たしていない場合は改善を勧告するものと規定している。これに基づき、書面による改善勧告を行うとともに、関係課と協議の上、未実施項目相当分の指定管理料の返還請求を行っている。今年度は未実施項目の対応を行い、返還請求にも応じていることから、すでに対応は完了していると考えている。

一般質問Q&A

市政会

近藤栄紀
議員



- 中学校再編について

その他の質問

- ・マイナンバーカードの交付について
- ・雁が原の活用について
- ・学校給食費の公会計化について

問 高等学校教育問題協議会の今後の県立高校のあり方についての答申を踏まえ、市教委と県教委との間で、主に中高併設・連携の意義について話し合いを進めており、今後は勝山高校も含めて具体的な連携の在り方・内容について擦り合わせを行い、できるだけ早く協議が整うよう尽力したいとしているが、その後の進展について伺う。

答 「中高連携と勝山高校の魅力化」を一体的に捉えて取り組むべきとする私どもの考え方は、県の高等学校教育問題協議会の答申内容と方向性を一にするものと捉えている。そして、県教育委員会も同様の認識を持っていたらいていと受け止めている。

そこで、これまでは市教委と県教委との間で事務レベルの話し合いをしてきたが、今年6月に答申が出されて以降は、より具体的な検討をするための場を持つことにした。まず地元では市教委・中学校校長・勝山高校校長の三者による擦り

合わせを行い、また県では県教委・市教委・勝山高校校長の三者協議という形で話し合いを進めた。

協議の内容は、中高連携に取り組む場合、あくまでも高校の魅力化・特色化と生徒数増、新中学校の活性化を図るという命題を前提として、どういう場面で、どういう形態で、どういう内容で実施可能か等々について協議している。

現時点では、まだ基本的な考え方の擦り合わせだが、この先、県が正式に勝山市での中高の併設・連携の方向性を表明すれば、更に詳細に詰めていきたい。その際は、市議会の意見も聞きながら作業を進めていきたい。

